第４回定例会　一般質問

　第４回定例会の一般質問は、12 月 12 日、13 日、14 日の３日間行われ、13 名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。
　一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

佐々木　英徳 議員

環境問題への対策について

問　自動販売機リサイクルボックスの異物混入は、ＳＤＧｓに反する課題である。自動販売機リサイクルボックスの正しい利用方法やリサイクルの重要性を広報するとともに、市民が自分の行動を見直す機会にしていただければと思う。環境問題への対策について、市長の考えを伺う。

答（市長）　再資源化が可能なものを効率よく回収することは、持続可能な循環型社会を目指す上でも、重要な取り組みであると認識している。関係機関と連携し、市民への普及に努めたい。今後は、消費者の立場として、ペットボトル再生繊維を使った商品を利用するなど啓発活動をさらに推進していきたい。

食品ロス削減について

問　徳島県上板町（かみいたちょう）では、小学校児童が、商品として流通できない規格外農作物の収穫を行い、加工業者が、それらをみじん切りやペースト等に加工・冷凍して、学校給食に使用している。出荷や加工前に廃棄されている地域の食材の活用について伺う。

答（市民部長）　出荷できない規格外の野菜が流通することで供給量が過剰となり、市場価格が下がってしまう恐れがある。現状、価格維持のため生産者等の判断により、自家消費や肥料として利用するなどの対応をしている。規格外の農作物の活用については、市場価格の適正化と深いつながりがあることから、今後の社会情勢、また生産者や関連企業等の意向を確認し、尊重しながら、地域社会の活用の可能性も検討していきたい。